

様式第1号（第6条関係）

23年 7月24日

まちづくり意見提案書

柴田町町長 殿

(提案者) 氏名 木幡義孝 (団体名及代表者名)

住所

電話

次のとおり提案します。

1	提案の名称	ふれあいケア・プロジェクト元気会
2	現状 課題	<p>人は、一生を通じ困難に陥った時、援護の中心は家族に求めていました。しかし、小子化傾向が続き、高齢者と家族の同居率は低下して、核家族・独居者高齢者化が進行し、大きな社会問題になっています。</p> <p>一方で「介護保険給付対象外」の高齢弱者が増加して社会の狭間で生活を営む当該者に対する福祉のあり方が、非常に重大な課題として社会問題に発展して、今後ますます顕著になると予想され、積極的に取り組むべきと考える。</p>
3	目 標	<p>急速に現実化する高齢社会を目前に、高齢者が社会生活に於て不安が高まっていることから、高齢者が自立し自己実現を図れる環境づくりと、高齢者等が社会の中で過重な負担を強いられることのない環境整備が求められています。その実現に向け「地域・参加・協働」の各視点を掲げ施策を展開します。</p> <p>1. 地域⇨高齢者が日常生活の中で、自立した生活を営めるような環境の整備と支援が必要な当該者の在宅生活を基本にケア体制の確立に努めます。</p> <p>2. 参加⇨高齢者自身が社会の担い手として、「支えられる」から「支える」ことを認識し、多様な世代の参加を得られる場の創出に努めます。</p> <p>3. 協働⇨地域に関わる担い手が役割を持ちながら連携し、互いに成果を共有しながら取り組み課題の解決に努めます。</p>
4	意見提案の内容	<p>高齢化率が高まるなか、とりわけ介護保険給付対象外の高齢者等が、いかに身体機能を向上させ、高齢社会の実現を期すために積極的な活動を推進する</p> <p>1. 連携と調整⇨地域ぐるみの「ケア体制」推進に向けた各主体との連携を図る</p> <p>2. 戸別回収⇨高齢者等の廃棄物を戸別回収し集積所へ持出し障害の防止を図る</p> <p>3. 情報提供⇨情報媒体や通信機器活用し高齢者視点に立ち情報冊子の提供を図る</p> <p>4. 福祉に関わる住民参加・参画は、時代の趨勢であることは周知の通りです。協働の町づくりを、改めて責任と役割について各主体が、社会福祉の向上のための環境の整備が必要と思われれます。</p> <p>5. 協働事業の実施にあたっては事業のどの段階で、どの手法を取るのかといった方針を示すことが必要かと思えます。</p> <p>6. 特に施策等に関する情報の提供と共有化（現状課題・施策を構想した背景・必要性・施策実施の手法・予想経費・施策の効果）等については、関わる情報を分かりやすく示すことが必要かと思えます。</p> <p>課題の解決や目的の達成のために、主体的にかかわること。事業実施の手法に関しては「どちらか主体のもとに協力を得ながら行う領域」と「双方それぞれが主体のもと協力し行う領域」で協働を進めることが重要と思われれます</p> <p>7. 地域福祉の推進にあたっては、個々の自助努力を基本としながらも、協働の様々な主体が関わるため主張反映の対応が必要となり、そのプロセスこそが、協働を確立し維持するために重要になると思われれます、「手間を惜しまず」に尽力されますことを切望しております。</p>